



UNIDOS webline簡易測定手順書

対象: UNIDOS T10021、T10022、T10023をお使いのユーザー様

放射線治療関連機器 輸入販売・サポート

Euro Meditech

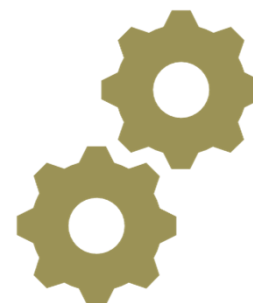
TEL : 03-5449-7585 (東京本社)

Mail : dosimetry-support@euro-meditec.co.jp

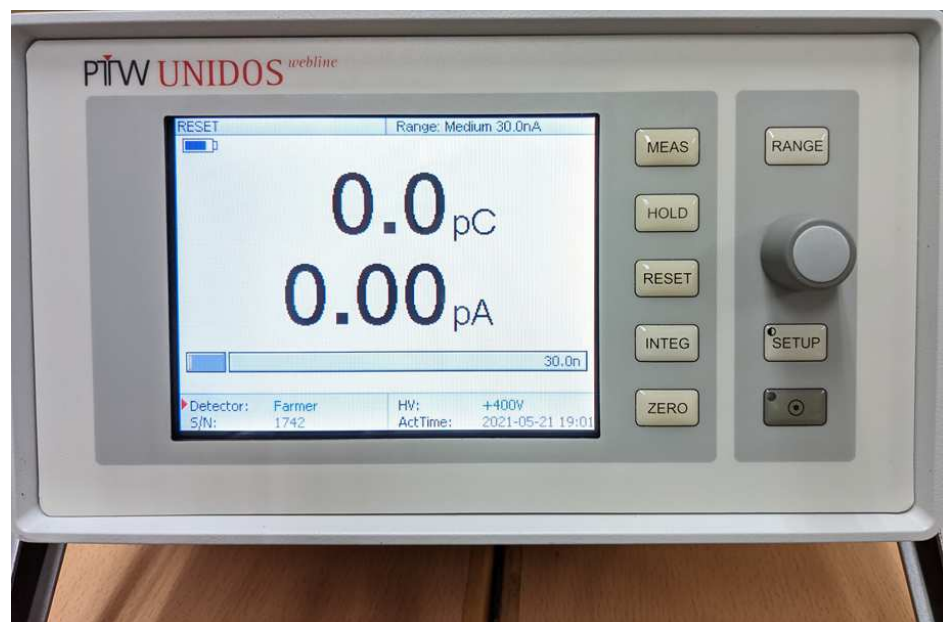
コンテンツ



測定の流れ

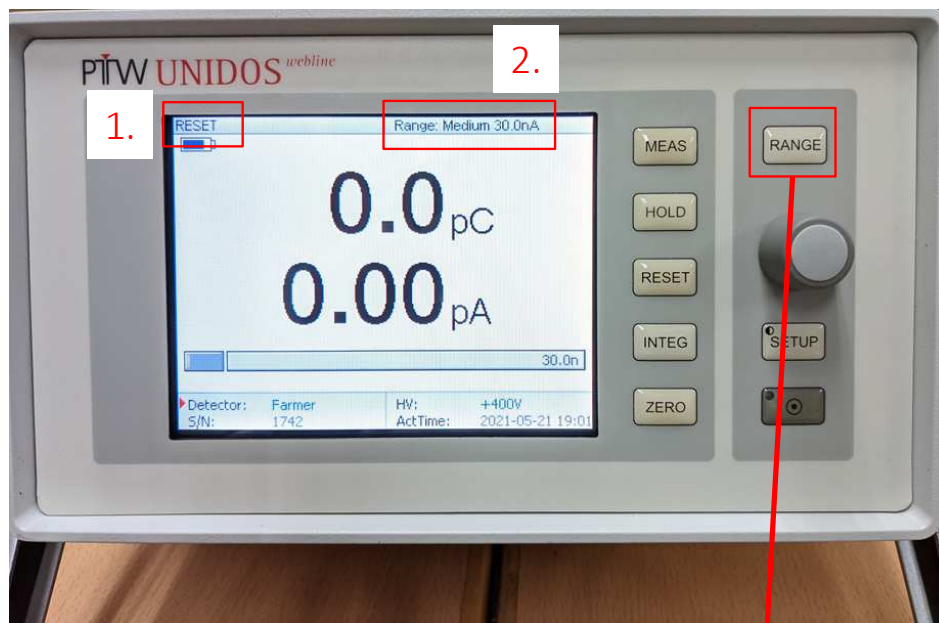


設定等確認、実測手順



測定の流れ

- コンセントを接続
 - ※必ず純正の電源ケーブルを使用
 - ※必ずアースを接続(3本足のプラグ)
- 電源投入
- ウォームアップ(10-15分)
- セットアップ、各種設定を確認
- 印可電圧設定、検出器接続
- 必要に応じてプレ照射実施
- ゼロ調実施(ZEROボタン)
- 実測(MEASボタン)、リセット(RESETボタン)



RANGE
(測定レンジ変更)

設定確認

1. 測定モード

RESETと表示されている場合は手動モード、AUTOと表示されている場合は自動モードです。

校正時と同じモードでご使用ください。

以前は自動モードでの校正も可能でしたが、校正センターの方針により、現在は手動モードのみ校正が可能ですのでご注意ください。

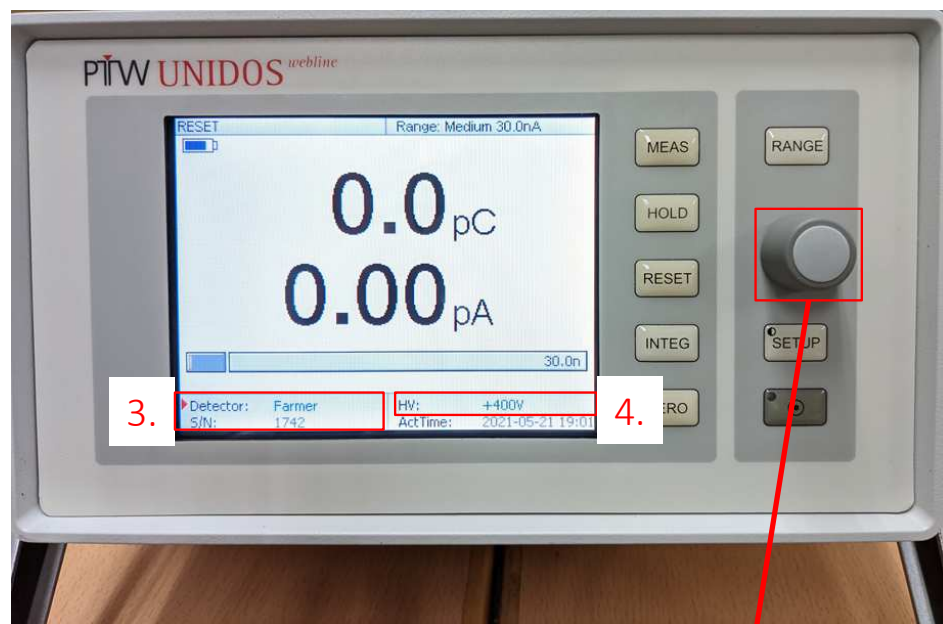
モードの変更方法については、後述します。

2. 測定レンジ

一体校正の場合は校正時のレンジと同一であるか、ご確認ください。

分離校正の場合は接続する検出器に合ったレンジをご使用下さい。

目安としては、Farmer型、Semiflex型(0.125cc)、Roos型はMedレンジ、PinPoint型、Advanced Markus型など、電離量が小さい検出器はLowレンジとなります。通常、Highレンジは使用しません。



設定確認

3. 検出器

正しい検出器が選択されていることを確認してください。

ナビゲーションノブを回転させ、Detectorに▶マークをセットし、ノブを押すと、検出器一覧画面が開きますので、適切な検出器を選択してください。

4. 印加電圧

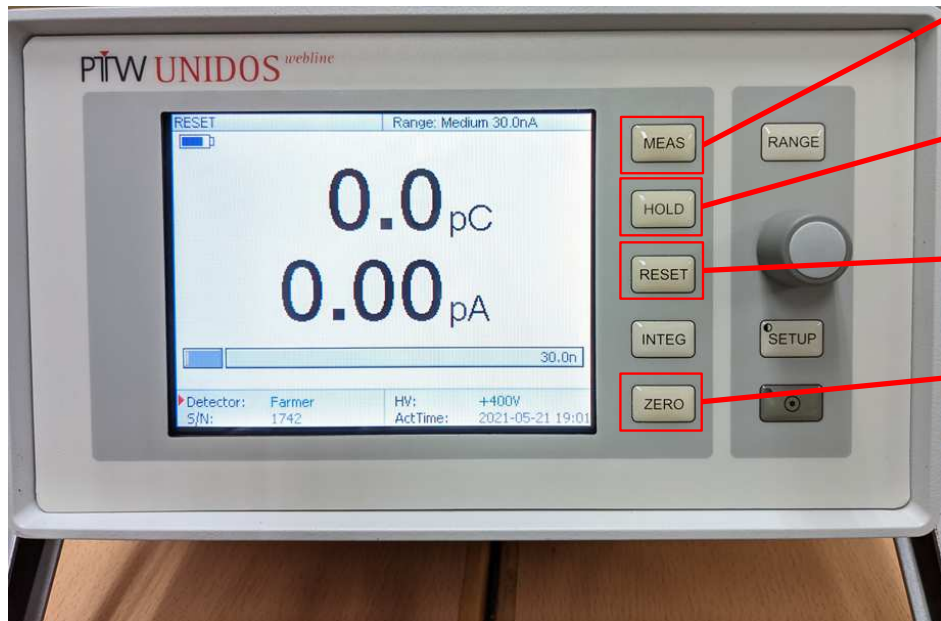
正しい印加電圧、極性が選択されているか、確認してください。

ナビゲーションノブを回転させ、HVに▶マークをセットしてノブを押すと、印加電圧及び極性が変更できます。

5. 検出器の接続

検出器を接続する際、一旦印可電圧を0Vにする運用をされている施設様は、一旦印可電圧を下げてから検出器を接続し、再度印可電圧を掛けてください。

※M型コネクタのUNIDOSの場合、印可電圧を落とさなくても検出器の脱着が可能です。



MEAS
(測定開始)

HOLD
(表示値固定)

RESET
(表示値消去)

ZERO
(ゼロ調)



必ず単位を確認してください

実測

準備が整いましたら、必要に応じてプレ照射を行い、ZEROボタンを押してゼロ調してください。

ゼロ調には通常70秒ほどかかります。

ゼロ調後、下段の電流値が0.00pAで安定していることを確認してください(Lowレンジの場合は0.000pA)。

MEASを押すと測定を開始します。ビームを照射し、照射が終わったらHOLDボタンで表示を止めてください。(ほとんどの場合、HOLDを押さなくても表示は安定しています)

必ず単位が電離量表記(pC、nC)である事を確認し、計算用のExcelシート等に数値を記入してください。

計算シートの数式も確認し、どの単位で計算されるかを必ずご確認ください。

計算シートに記入後、RESETボタンを押して測定値を消去してください。

自動モードについて

はじめに

また、以前は校正センターでも自動モードで校正が可能でしたが、現在では手動モードのみが校正可能となっています。加速器の校正に使用される場合、必ず校正時と同じモードをご使用ください。業務効率向上を目的として自動モードを使用される場合は、自動モードで誤差がでないことを事前に必ず確認してください。

設定方法

1. SETUPボタンを押して設定画面に入ります。
2. ナビゲーションノブを回してAUTO STARTを選択、ノブを押して設定画面に移ります。
3. 使用するモードを選択してください。

Disabled：手動モードです

AutoStart without AutoReset：ビームが入ってくる度に積算していきます。IMRTなどの合算線量を計測する際に便利です。

AutoStart with AutoReset：ビームが入ってくる度に一旦リセットします。繰り返し測定の際に便利です。

AutoStart sensitivity：ビームの検出感度です。検出器によっては感度調整が必要です。

必ず手動モードと自動モードで誤差が出ないことを事前にご確認の上、ご使用ください。

UNIDOSwebline用Excelマクロについて

マクロ（アドイン）を用いて、Excelに測定値を取り込む事が可能です。

通常は電離量表示にて測定しますので、ExcelにはnCで値が取り込まれる仕様となっています。

最新バージョンでは、測定単位が電離量になっていない場合、測定値取り込み時にエラーが出る機能が追加されております。

無償でバージョンアップが可能ですので、ご希望の方はユーロメディテック測定サポート（dosimetry-support@euro-meditec.co.jp）までお問い合わせ下さい。